

令和元年度 行政評価表:総務課

【Plan】計画 / 【Do】実施																	【Check】評価 / 【Action】改善													
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)						事業評価の成果指標(目標・実績)						H30年度	R1年度		事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)								
			指標名等		H30年度		R1年度		指標名等		H30年度		R1年度		決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)	成果向上 余地はあるか	評価の理由	コスト削減余 地はあるか	評価の理由	1次評価(担当者評価)		2次評価						
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率			事業評価	評価の理由	R3年度予算要求の方向性	所属長評価						
自立した 行政経営 の確立	職員研修事業	職員が知識・能力を身に付け、複雑・多様化する行政ニーズに的確に対応できるようにするため、各種研修を行う。 ①階層別研修・実務研修 ②課題研修 ③派遣研修 ④同和問題研修・接遇研修・その他	職員研修実施回数	回	70	75	107%	70	78	111%	職員研修の受講者数	人	1,423	2,069	145%	1,470	1,846	126%	3,223	3,385	2,548	低	講師料や職員派遣に係る旅費等を考えれば、現状の予算では、これ以上の成果向上は見込めない。	なし	既に佐賀県市町村振興協会主催の研修(参加費無料)に多数参加させているとともに、職員が講師になるなど、最小限のコストで運営している	維持	今後も研修受講の機会を確保しながら、研修メニューの工夫により、効果的な研修を実施する。	令和2年度と同程度の予算額を要求する。	維持	今後も限られた予算の中で、研修メニューや対象者を工夫し、職員の知識や能力を向上できるように、効果的な研修を実施する。